

広島県糖尿病療養指導士認定試験のための糖尿病療養指導自験例の記録

症例番号: 1・2・3・4・5

受付番号(8ケタ): _____ 氏名: _____

※分かる範囲で数値や薬品名を記入してください、選択肢については○で囲んでください

医療職 | 看護師・准看護師・助産師・保健師・管理栄養士・栄養士・薬剤師・臨床検査技師・理学療法士・歯科衛生士・作業療法士

1. 症例 ID : () 年齢: ()歳 性別: 男・女
 指導期間 : ()年()月()日～()年()月()日 (入院・外来・在宅)

2. 療養指導開始時の患者の状態

(1)病型 : 1型・2型・妊娠糖尿病・その他()
 (2)罹病期間 : 約()年
 (3)嗜好品 : 飲酒 - + 喫煙 - +
 (4)体格 : 身長()cm 体重()kg BMI()kg/m²
 (5)検査データ : HbA1c()%
 (6)合併症 : 網膜症 - + (単純・前増殖・増殖)
 併発症 腎症 - + (病期 1・2・3・4・5)
 神経障害 - + 空欄や○印の囲いが無いのは記入漏れと判断され、
 動脈硬化症 - + 再提出となります。わからなければ不明と記入して下さい。
 高血圧症 - +
 脂質異常症 - +

3. 療養指導開始時の医師の治療方針

(1)食事療法 : 指示エネルギー ()kcal/日
 減塩 - + ()g/日
 蛋白制限 - + ()g/日
 (2)運動療法 : - + (具体的内容:)
 (3)薬物療法 : 経口糖尿病薬 - +
 (薬品名:)
 : インスリン - +
 (薬品名:) 合計単位 単位/日

4. 本症例に行った療養指導

①この症例の療養指導上の問題点(あなたの職種から見て) ③主治医やチームの他職種との連携
 ②その問題点への対応 ④あなたの指導による患者さんの変化

① 漠然とした問題点、例えば血糖コントロール不良、肥満、自己管理能力の低下等を挙げるのみでは不十分であり、職種からみて指導すべき点を具体的に述べる必要があります。

例1) 肥満と膝関節の変形があるため長時間の歩行が困難である。
 例2) 狭心症の治療中であるが早朝空腹時に運動に長時間出かけており、運動の内容が適当でない。

② ②は①に対しての対応を書きます。

例1) 膝に負担のかからない運動についてパンフレットを用いて説明した。何種類か選んで実際に行い、注意点を説明した。
 例2) 入院中に運動負荷試験を行い、安全に行える有酸素運動レベルを評価し、その結果から週3回、食後に30分の歩行を指導した。

③ ③は他職種との連携について書きます。

例2) 医師から運動は食後が血糖値を下げる効果があること、早朝空腹時の運動は狭心症の誘発や、低血糖の恐れがあることを説明してもらった。

④ 指導による患者さんの変化を、具体的に記入します。

例1) パンフレットによる説明が分かりやすく、やってみると思ったより簡単で、退院してからも続けてみる自信がついたとの話が聞けた。病室を訪ねた時も室内でできる運動を行っていた。
 例2) 狭心症があるが今まで運動の内容、時間について考えていなかった。今回の入院で運動する時に注意すべきことがよく分かったとの感想を聞いた。